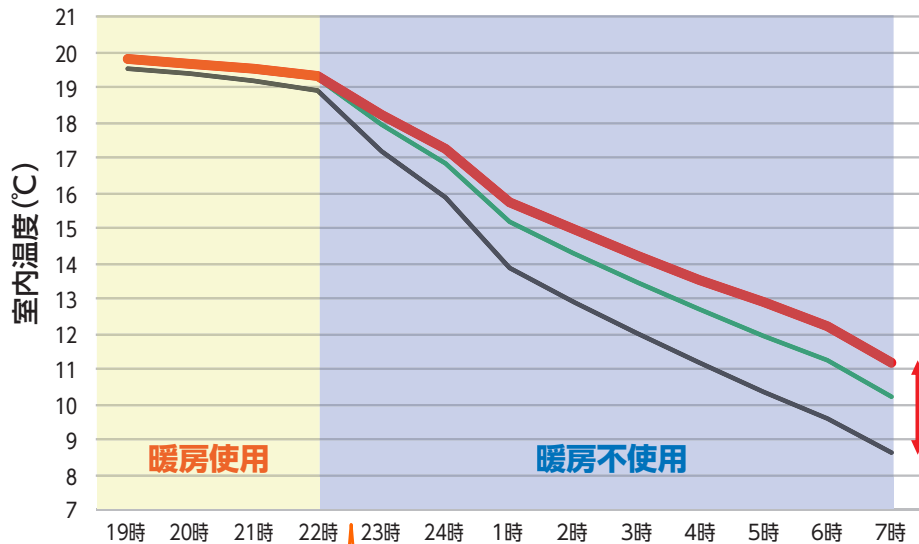


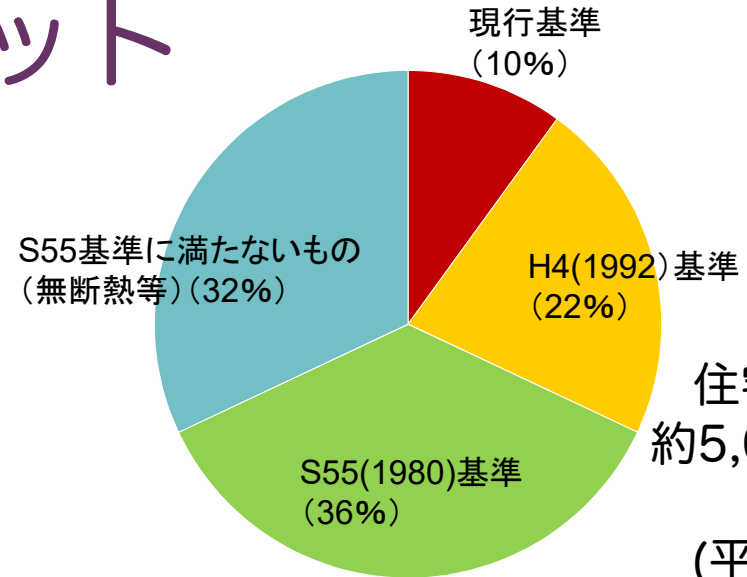


# 断熱によるピークカット

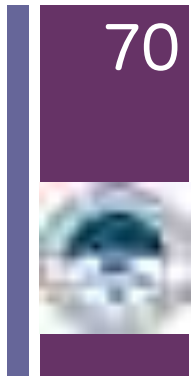


夜～朝方の居間の室内温度変化

- 複層ガラス (FL3+A12+FL3)
- エコガラス (FL3+A12+Low-E3)
- エコガラスS (Low-E3+Ar9+FL3+Ar9+Low-E3)

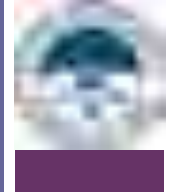


住宅ストック  
約5,000万戸の  
断熱性能  
(平成29年度)



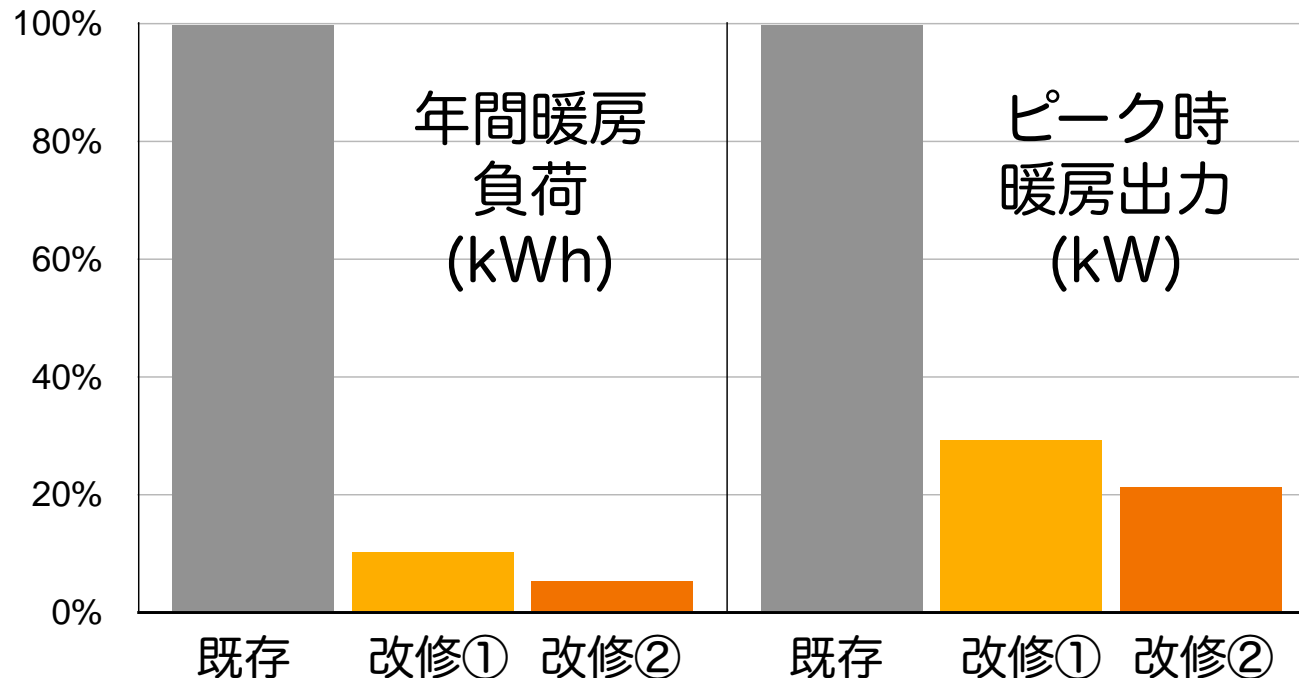
エコガラスや断熱材による新築・改装  
 ① エネルギー(電力量)(kWh)  
 ② 一時的な消費電力(kW)  
 の削減の両者に貢献

(出典) 板硝子協会: エコガラスで実現! 快適・健康・省エネの家づくり,  
[http://www.ecoglass.jp/s\\_business/pamphlet/pdf/ecoglas\\_databook\\_16p.pdf](http://www.ecoglass.jp/s_business/pamphlet/pdf/ecoglas_databook_16p.pdf)  
 国土交通省: 我が国の住宅ストックをめぐる状況について,  
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001323208.pdf>  
 松尾和也: 暑さの7割寒さの6割は窓が原因なのに、日本の窓は中国の最低基準以下, Lifull Home's Press, 2014年11月28日  
[https://www.homes.co.jp/cont/press/opinion/opinion\\_00089/](https://www.homes.co.jp/cont/press/opinion/opinion_00089/)



# 学校・公共建築の断熱

- 既存(無対策)
  - ⇒ ペアガラスの内窓＋天井壁の断熱改修
- 年間暖房消費電力量(kWh)：約9割削減
- ピーク時暖房出力(kW)：約7～8割削減

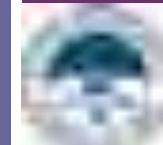


エネルギー・CO<sub>2</sub>削減だけでなく、ピークカットにも貢献

小学校断熱改修シミュレーション例  
外壁: ネオマフォーム 50t  
天井(屋根): 高性能GW 300t  
開口部熱還流率: 0.7 Wm<sup>2</sup>K  
日射遮蔽: アウターシェード  
空調: HPエアコン4.5kW×2  
換気: 第1種換気(全熱交換器)  
(①床置型, ②天井カセット)



# 住宅省エネ法案提出見送り？



脱炭素政策に逆行

来年の冬に間に合わせるの  
のであれば、大規模  
電源よりもはるかに  
短期で大量に設置・  
施工が可能だが…。

本来、断熱こそ  
急務では？

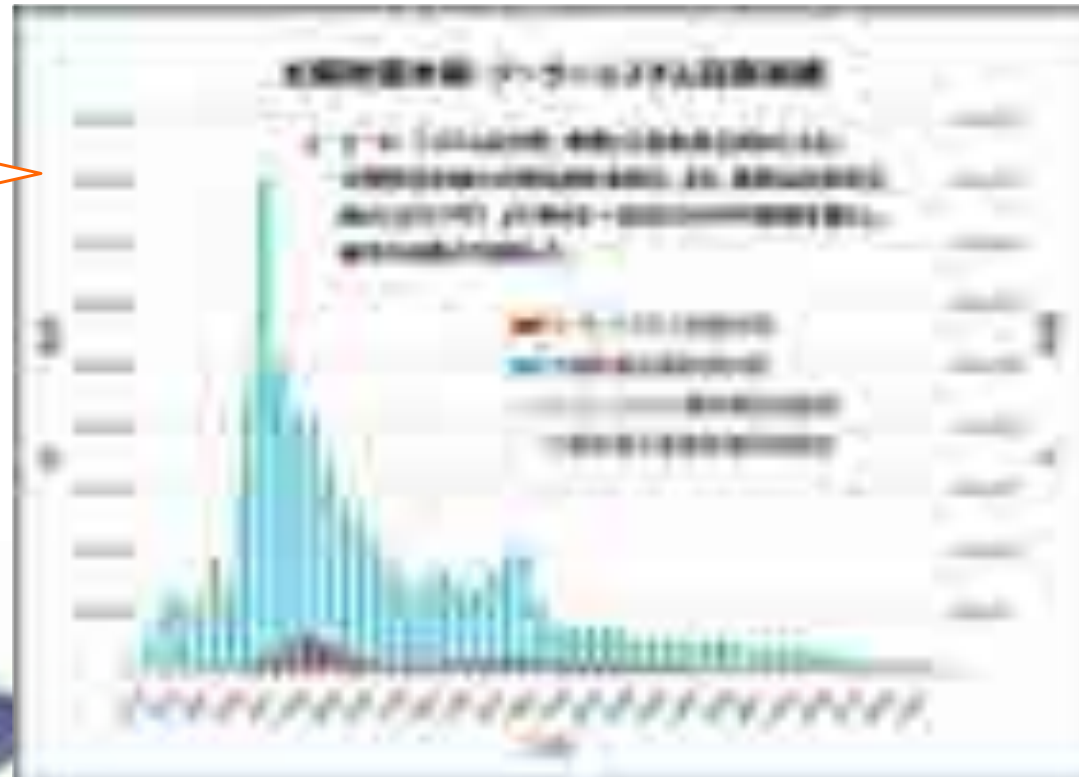
+



# 太陽熱＋熱貯蔵によるピークシフト

脱炭素が叫ばれる時代に  
何故か導入減…。

本来であれば、冬季の夕方  
ピークの需要削減に貢献

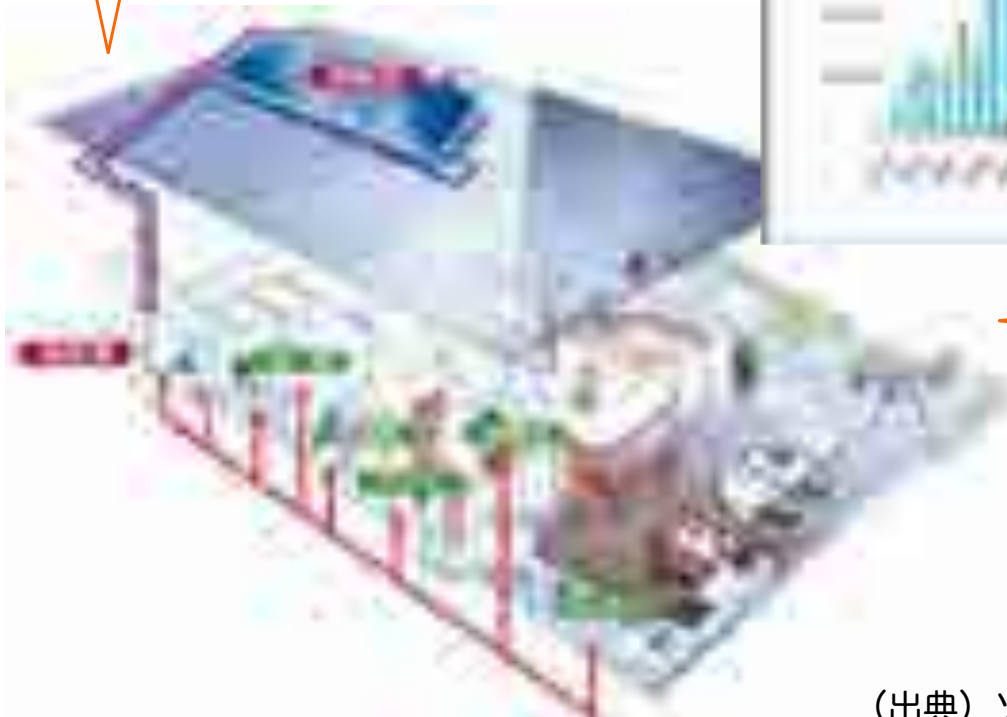


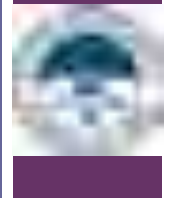
太陽光発電+エコキュートでもOKだが…

セクターカップリングの  
概念の不在？  
熱政策の欠如？

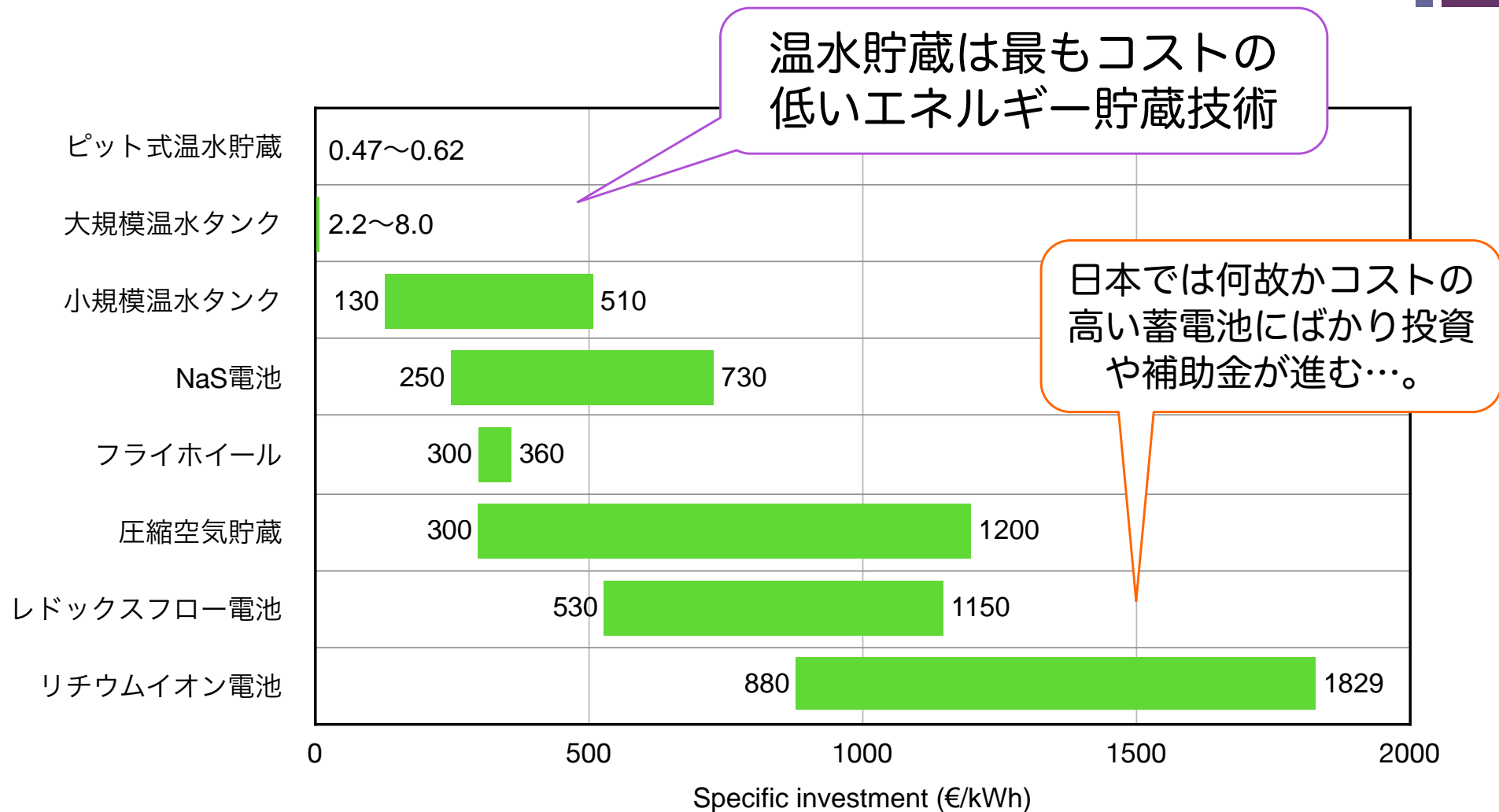
(出典) ソーラーシステム振興協会: 太陽熱温水器・ソーラーシステム設置実績

<https://www.ssda.or.jp/energy/result/>



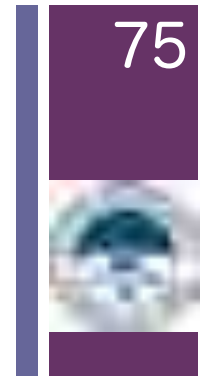


# エネルギー貯蔵のコスト (デンマークにおける試算, 2020年)





# リスクマネジメントの指針



今回の危機対応は、ISO/JISの指針に照らして適切だったか？

## ■ 序文

- リスクマネジメントとは、**反復して行うもの**であり、戦略の決定、目的の達成及び**十分な情報**に基づいた決定に当たって組織を支援する。
- リスクマネジメントは、**組織統括及びリーダーシップの一部**であり、あらゆるレベルで組織のマネジメントを行うことの基礎となる。

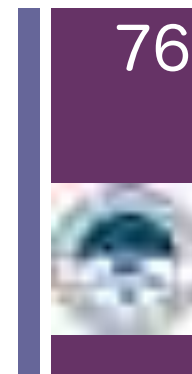
## ■ 1. 適用範囲

- これらの指針は、**あらゆる種類**及びその状況に合わせて適用することができる。
- この規格は、**あらゆる組織**のリスクのマネジメントを行うための共通の取組み方を提供しており、特定の産業又は部門に限るものではない。
- この規格は、組織が存在している限り使用可能であり、**あらゆるレベル**における意思決定を含め、**全ての活動**に適用できる。





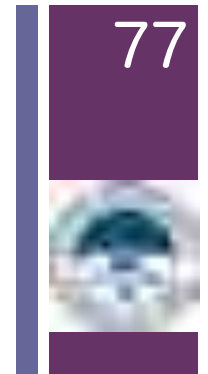
# リスクマネジメントの指針



## 5.2 リーダーシップ及びコミットメント

- トップマネジメント及び監督機関(該当する場合)は、リスクマネジメントが組織の全ての活動に統合されることを確実にすることが望ましい。また、次の事項を通じて、リーダーシップ及びコミットメントを示すことが望ましい。(以下抜粋)
  - リスクマネジメントの取組み方、計画又は活動方針を確定する声明又は方針を公表する。
  - 権限、責任及びアカウンタビリティを、組織内の適切な階層に割り当てる
- トップマネジメントはリスクのマネジメントを行うことに責任を負い、監督機関はリスクマネジメントを監督する責任を負う。監督機関は、しばしば次の事項を行うことを期待され又は必要とされる。(以下抜粋)
  - これらのリスクのマネジメントを行うためのシステムが実施され、有効に運用されることを確実にする。
  - それらのリスク及びそれらのマネジメントに関する情報が適切に伝達されることを確実にする。

# + リスクマネジメントの指針



## ■ 5.5 実施

- 組織は、次の事項を行うことによって、リスクマネジメントの枠組みを実施することが望ましい。
  - 時間及び資源を含めた適切な計画を策定する。
  - 様々な種類の決定が、組織全体のどこで、いつ、どのように、また、誰によって下されるのかを特定する。

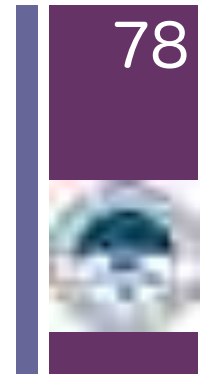
## ■ 5.6 評価

- リスクマネジメントの枠組みの有効性を評価するために、組織は、次の事項を行うことが望ましい。
  - 意義、実施計画、指標及び期待される行動に照らして、リスクマネジメントの枠組みのパフォーマンスを定期的に測定する。
  - リスクマネジメントの枠組みが組織の目的達成を支援するために適した状態か否かを明確にする。





# リスクマネジメントの指針



## 6.5.3 リスク対応計画の準備及び実施

- リスク対応計画の意義は、**関与する人々が取決めを理解し、計画に照らして進捗状況をモニタリング**できるように、選定した対応選択肢をどのように実施するかを規定することである。対応計画には、**リスク対応を実施する順序を明記**することが望ましい。
- 対応計画は、適切なステークホルダと協議の上で、組織の経営計画及びプロセスに統合されることが望ましい。
- 対応計画で提供される情報には、次の事項を含めることが望ましい。  
(以下抜粋)
  - 期待される取得便益を含めた、**対応選択肢の選択の理由**
  - 計画の承認及び実施に関して**アカウントビリティ及び責任をもつ人**
  - **不測の事態への対応**を含む、必要とされる資源
  - 活動が実施され、完了することが**予想される時期**